

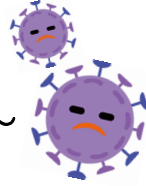
おしゃべり通信

No. 249 R2. 8. 20 発行 如春会 浦田医院



〈新型コロナウイルス感染症〉

～スウェーデンの取り組みとは～



新型コロナウイルス感染症への対応では、「被害を最小限に食い止めた」と評価される国もあれば、「無策で感染拡大を招いた」と批判される国もあります。そんな「国際比較」の中で、“独自路線”と位置付けられたのがスウェーデンの対応ですが、日本とはどこが違うのでしょうか？

■コロナ禍は「非常事態」か

スウェーデンの視点が諸国と異なる最大のポイントは、コロナ禍を「非常事態」ではなく「通常時対応」と考えていることです。戦争など国家存亡に関わる「非常事態」には「非常時対応」が必要ですが、現在のコロナ禍はそこまでの危機はないとの判断です。たとえば、スウェーデンのアルコール関連死は約4500人/年。今回のコロナによるスウェーデンでの死者数とほぼ同じです。どちらの対策も目標は「公衆衛生上のコストとバランスを取りながら、個人の自由や個人の充実した生活を守ること」で、「最大多数の人の寿命を最大限に伸ばすこと」ではありません。この点から、コロナ禍は「非常事態」ではないので、原則として政府が介入するのではなく、医療の専門家が原則として施策の提案をしています。

■スウェーデンで『制限』されたこと

スウェーデンの目指す第一の目標は「医療崩壊を防ぐこと」。そのための方策は「死亡率の高い高齢者と基礎疾患のあるリスクの高い人を守ること」でした。これは、高齢者や基礎疾患のある人に死亡者が大きく偏っていたことが裏付けの一つ

とされました。よって、「高齢者施設の訪問と50人以上の集会の禁止」「飲食店で客同士の距離をとるための制限」などは法律で『強制』、「少しでも症状のある人の隔離」「可能な限りのリモートワーク」「不要不急の旅行の自粛」などは『勧告』されました。多くの欧州諸国では都市閉鎖が行われましたが、スウェーデンでは、「その根拠がない」として、具体的な日常の対応は国民に委ねるといふ、どちらかという日本に近い対応だったといえます。

■「休校措置」をした日本、しなかったスウェーデン

日本との違いは、学校の休校措置です。スウェーデンでは休校措置をとった場合、医療従事者の10%が子どもの世話のために欠勤を余儀なくされるという推計が出され、さらに子どもの世話を祖父母が担うとなると高齢者の感染リスクを高め、本末転倒になるという懸念があり、加えて子どもの集団は感染拡大に加担する可能性は低いとも判断されました。

もともと3歳までの保育が家庭でなされている同国では、今回日本で幼・保育園への登園が自主規制にまかされたことも含めて、子ども対策に差があり、どちらが子どもへの福祉として理にかなっているのかを見直す機会とすべきかもしれません。

■新型コロナウイルスとの共存に日本が必要なことは？

スウェーデンにおけるコロナ関連死亡者の90%は70歳以上の高齢者であり、そのうち80%が要介護者でした。新規感染者数は4月中旬をピークに減少し、重傷者も減少しています。6月後半から夏季休暇期間に入った同国ですが、今のところ「第二波」の動きはないようです。

新型コロナウイルス感染症との戦いが長期戦になることを見越して、長期間継続可能な対策をとったスウェーデンの現状をどう考えますか？

参考：「集団免疫作戦に失敗した」は本当？現地医師が統括する「スウェーデンのコロナ対応」

文藝春秋 2020年8月号

コロナ独自路線のスウェーデン方式、死者多数もいよいよ「効果」が見えてきた プレジデント

誤解されたスウェーデンの「コロナ対策」の真実 東洋経済オンライン 8月16日

監修：浦田章子 M.D.

文責：金柿



子どもたちを熱中症の危険から守るために

～日本小児科医会からのメッセージ～

「子どもの新しい生活様式(学校生活でもマスクについて)」



※このメッセージは文部科学省『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.6.16 Ver.2)』に準拠しています。学校のルールを守りましょう。

- ◇ 登下校(集団登下校)の際は、一列に並び、
1メートル以上の十分な間隔が取れば
マスクを外しましょう
暑い、少し苦しいと感じたら早めにマスク
を外しましょう
- ◇ 友達と外を歩くときはあまり大声を出さず、顔と顔を向
き合わせずに話しましょう
- ◇ 教室において、休み時間など動き回るときや大きな声で
話すときには、マスクを着用、暑く感じたら必ず外しま
しょう
- ◇ 授業中、話す機会がないならば、マスクをとりましょう
- ◇ エアコンを使うときも常に、あるいは少なくとも30分
に1回程度は窓を開けて換気を行いましょう
- ◇ 給食の際は、机を口の字、コの字、2列向かい合わせ、
など1m以内で向かい合う状況を作らないように注意し
て、お互いの顔を見ながら楽しく会話しましょう
※ コミュニケーションを考慮した向かい合わせで机の
間隔を1m空ける工夫をする



フェースシールドは粘膜や皮膚への付着を防ぐものです。
鼻や口を覆っていないので、咳やくしゃみによる飛沫を防止
する役割はなく、マスクの代用品ではありません。